

スケートリンクの整備に期待される効果

～「鳥取市スケートリンク検討委員会報告書」より～

★優先順位は？だが、「夢」のある鳥取市の検討課題 =

スケートリンク整備の是非

※鳥取市体育協会加盟団体の全27競技種目中、唯一市内で体験することができない種目！

(※だれもが楽しめて、商業性の高いレジャースポーツ施設でもある…)

①健康増進・体力づくり

多様なスポーツ活動の機会を確保し、市民の健康増進と年々低下している子どもの体力向上を図る。

フィギュアスケートで男女ともオリンピックチャンピオンが誕生するなど、世界の舞台で日本人選手が活躍しており、スケートへの興味や関心は近年高くなっている。

②競技力向上

競技者の競技力向上と競技人口の増加を図る。

「国体における過去の実績」と「トップ選手が集まる指導環境」等から客観的に判断して、スケート競技は鳥取から日本トップ選手を輩出する可能性がある種目として期待できる。

③レジャー

市民のレクリエーションの場として、レジャー感覚で親しむスポーツ活動を振興する。

老若男女を問わず多くの市民がレクリエーションの場として親しむことのできる類似施設は「ボウリング」!?

※鳥取県内のボウリング利用者は年間205,625

④経済波及

大会・競技会の開催や合宿・キャンプ地誘致などが見込めるため、交流人口の拡大とともに経済波及効果が期待できる。

交流人口増によって地域経済に波及効果が期待できることはもとより、収益施設として直接経済効果を得る取組が検討可能である。さらには、関連産業の育成を図ることで雇用増にも寄与する。

既にトップスケーターが鳥取県登録選手になっており... 一流選手を身近に感じることのできる環境は、**子どもたちの「夢」と「希望」を創造する。**

国体入賞やトップスケーターを輩出することによって、鳥取の**イメージアップ**が図られるとともに**誇りある郷土愛が醸成される。**

・スケートを介した**情報発信**
・競技力向上を目的とした**競技者の転入**
・鳥取の**魅力アップ**による**若者の移住定住促進**

等々

【利用者数見込】 17,721人～35,442人 (鳥取市スケートリンク検討委員会報告書より)

商圏人口=590,714人

参加率=1～2% (平均=2.3%、最高=2.7%)

活動回数=3回 (平均=3.3回、最高=9.4回)